

## 2024 年度冬季大会【pdf】

### 2024 年度冬季大会

主催：

移民政策学会

開催校：

南山大学

日時：

2024 年 12 月 7 日（土）：13:00～18:00

会場：

南山大学（名古屋市昭和区山里町 18）

開催形式：

対面（国際セッションについてのみハイブリッド対応）

アクセスマップ：

[交通アクセス | 南山大学 \(nanzan-u.ac.jp\)](#)

キャンパスマップ：

<https://www.nanzan-u.ac.jp/CMAP/nagoya/campus-nago.html>

参加費：

会員 無料

非会員（一般） ¥1,000 （学生） ¥500

※ 参加申し込みには以下の Peatix のフォームをご利用ください。

<https://jamps-winter2024.peatix.com>

※ 参加の申し込み締切は、2024 年 12 月 1 日（日） 23 時 59 分 <厳守 > です。

<開催校からのお知らせ>

会場校の Wifi 利用に関して、ルーター等特別なものはご用意できません。各自でご用意ください。大学の研究者の方におかれましては、eduroam を利用してください（SSID「eduroam」あるいは「eduroam-XXX」（XXX は任意の文字列）の無線ネットワークに接続できますので、各

大学等で、あらかじめ ID とパスワードを設定してもらい、会場でそれらを入力してご利用ください。

当日、移民政策学会の受け付けは、R 棟の「フラッテンホール」前となります。そこで受付をおこなってから、自由報告 & テーマセッション会場の G 棟に移動してください。

当日、自由報告 & テーマセッション会場の G 棟では、別の学会も利用しています。移民政策学会が借用している教室以外には、参加者は立ち入らないようご注意ください。

#### <取材を希望されるメディア関係者のみなさま>

- 大会の取材は 学会事務局までメールにて事前の申し込みをお願いしております。
- メールには、社名、担当者氏名、取材日時、取材内容（インタビュー、写真撮影、動画撮影等の要否）を記入ください。
- 写真撮影や動画の撮影がある場合は、開催校の腕章を着用してもらう必要があります。
- 取材日当日、担当者の名刺を大会の受付に提出下さい。

#### ◆◆◆プログラム◆◆◆

##### <自由報告>

##### 自由報告 I

13:00～15:00 G 棟 G25 教室

司会 高畑幸（静岡県立大学）

1. 馬場 由美子（愛知県立大学大学院）  
「ウルグアイに転住してきた日本人移民一語りにみる「帰着」の背景一」【抄録】
2. 牧田 幸文（福山市立大学）  
「ハワイを終の住処として選択した新一世高齢者一本土からの移住者を中心に一」【抄録】
3. 高橋 泉（大谷大学）  
「インドシナ難民の宗教的諸相に関する一考察一2つの定住促進センターの事例を通じて一」【抄録】

## 自由報告II

13:00～15:00 G棟 G26 教室

司会 ミロシュ・デブナール（龍谷大学）

1. 手塚 沙織（南山大学）

「重要技術分野の高度外国人材とアメリカのビザ制度—米シリコンバレー在住の人工知能（AI）分野に従事する日本人を事例として—」【抄録】

2. 大津 真実（金沢大学）

「ドイツにおける難民の社会統合政策—ベルリン州の事例から—」【抄録】

3. 池北 真帆（東京大学大学院）

「スペイン右派ポピュリズム政党支持者の排外主義をめぐるエスノグラフィ」【抄録】

4. 佐藤 美奈子（京都大学）

「移動する家族の言語バイオグラフィとアイデンティティ形成—オーストラリア在住ブータン人家族の事例から—」【抄録】

## 自由報告III

13:00～15:00 G棟 G27 教室

司会 渋谷努（中京大学）

1. 山内 周司（京都大学大学院）

「各国における海外選挙区代表議員選出制度の比較分析—日本への導入に向けて—」【抄録】

2. 盧 宇晨（慶應義塾大学大学院）

「在留外国人の健康保険加入決定要因に関する研究」【抄録】

3. サングムックダー・ブンナウィッチ（一橋大学大学院）

「法的地位の移行における移民の主体性に影響を及ぼす要因—技能実習後の移行を事例に—」【抄録】

4. 李 敏 ((独)大学改革支援・学位授与機構)

「在日中国人元留学生の教育ネットワークに関する研究」【抄録】

**<テーマセッション>「外国人移住者の起業と地方創生」**

13:00～15:00 G棟 G28 教室

司会・趣旨説明 大石奈々 (メルボルン大学)

1. 藤原直樹 (追手門学院大学)

「国際起業家の起業地選択要因とその支援政策の課題—福岡市の特区制度を事例として—」【抄録】

2. ジェレミー・ブレーデン (モナシュ大学)

「スタートアップ・エコシステムにおける外国人起業家支援—仙台市の事例から—」【抄録】

3. 大石奈々 (メルボルン大学) & リチャード・チェンホール (メルボルン大学)

「外国人起業家と地方創生—ニセコ地区および白馬地区の事例から—」【抄録】

**<国際セッション>**

13:00～15:00 R棟 1階「フラッテンホール」

司会: MILLY, Deborah (Virginia Polytechnic Institute and State University)

1. “ ‘Residentialization’ of the Second-Generation in Japan: Comparing Zainichi Korean and Newcomer Non-Citizen Political Engagement” 【Abstract】

SILVERMAN, Ken (City University of New York Graduate Center and University of Tokyo)

2. “Navigating Barriers: Refugee Policies and Asylum Dynamics in East Asia” 【Abstract】

MATHARAGE, Shalini S. (Northeastern University)

3. "Health-Related Correlates of COVID-19 Infection among Foreign Residents during the Pandemic Period in Japan" 【Abstract】  
KOJIMA, Hiroshi (Waseda University).

＜シンポジウム「グローバル化と複数国籍—あらためて「複数国籍」を問い直す」＞  
15:15～18:00 R 棟 1 階「フラッテンホール」

会長挨拶：鈴木江理子（国士館大学）

開催校挨拶：星野昌裕（南山大学副学長）

司会：菅原真（南山大学）

企画趣旨

「重国籍／複数国籍」をテーマとする本学会の取組みとしては、2018年5月の移民政策学会年次大会のミニシンポジウム「複数国籍の是非と『国のあり方』—国籍法と実態のギャップから」が開催されている。本企画は、「複数国籍」をテーマとする2回目の企画となる。

新型コロナウイルスの猛威が収束し、あらためて人・モノ・カネ・サービス・情報などの国境を超えた移動（グローバル化）が進展する中で、近代国家が発明した「国籍」についての問い直しや「複数国籍」の検討については、法学・政治学・社会学などの諸分野において展開が見られる。

日本では、女性差別撤廃条約批准のための1984年国籍法改正の後、国籍法3条違憲判決を受けた2008年国籍法改正により、衆参両院において、①重国籍となる子どもが増加すること、②重国籍に関する諸外国の動向を注視する必要があること、③日本における在り方について検討を行うことを内容とする「附帯決議」が採択されたにもかかわらず、その後、法制度面での進展はない。

しかし、外国に居住する日本国民が「自己の志望」によって外国の国籍を取得した際に日本国籍を喪失させる国籍法の規定（11条1項）に関する違憲訴訟がいくつか提起された（「国籍確認等請求事件」、「旅券不発給処分無効確認等請求事件」など）。日本の裁判所は、いずれの訴訟においても「国籍唯一の原則」は合理性を有するとし、原告らが主張する憲法10条、13条、14条1項、22条2項等違反の訴えを斥ける判断をおこなっている。

しかしながら、2020年段階で国連加盟国の4分の3以上の国が複数国籍を許容する法制度を有することが認識される中で、日本においても、「国籍唯一の原則」の合理性・正当性については、再検証する必要があると考える。

そこで、今回のシンポジウムは、この問題の専門家である諸会員から登壇していただき、あらためて「複数国籍」の問題を検討し、「国籍」とは何かを再考する機会としたい。

#### 報告者

1. 菅原真(南山大学)

企画趣旨「グローバル化と複数国籍 再考」

2. 武田里子(大阪経済法科大学)

「複数国籍をめぐる現状」(仮)

3. 仲晃生(弁護士)

「複数国籍をめぐる裁判の動向」(仮)

4. 館田晶子(北海学園大学)

「複数国籍をめぐる憲法学の動向」(仮)

#### <懇親会>

18:15～20:15

場所： リアン・カフェ(学内施設・リアン2階)

懇親会費：5,000円(一般会員) 3,000円(学生等)

#### 【理事会・各委員会について】

企画委員会：10:00～11:15 R棟1階会議室

社会連携委員会：10:00～11:15 R棟1階応接室1

国際交流委員会：10:00～11:15 R棟1階応接室2

理事会：11:30～12:45 R棟1階会議室